

# 港区グローバルオープンイノベーションセミナー

## ポストコロナで本格化する

# グローバル

GLOBAL  
OPEN INNOVATION

# オープンイノベーション

「スタートアップ創出元年」と政策定義された2022年、海外におけるスタートアップ・キャンパスの躍進、海外交流が再開しつつある状況、急激な円安等、全世界の情勢がリアルタイムに変化する中、スタートアップの事業成長モデルの変革や企業の新たな海外連携ビジネスの可能性を開拓するキーワードとして「グローバルオープンイノベーションの本格化」が注目されています。

本セミナーでは、国内外スタートアップの先端的な取組モデルや海外共創エコシステムの変化、今だからこそグローバル展開が大切な理由についてグローバルオープンイノベーションを推進している先駆者に実体験を踏まえて語っていただきます。

港区立産業振興センターでは最新の情報や技術を提供する「未来発展型の産業振興拠点」としてグローバルオープンイノベーションを推進しています。ぜひご参加くださいませ。

# 2022.8.3 Wed

## 13:30~16:40 (受付 13:00~)

### ● 交流会：16:50~

〔会場〕札の辻スクエア 11階 小ホール



#### 申込方法

QRコード、港区立産業振興センターHPのイベントページからお申込みいただけます。

参加費 無料! 定員: 60名 (先着順)



#### アクセス

- JR田町駅三田口(西口)から 徒歩4分
- 都営三田線三田駅 A3 出口から 徒歩4分 または、A4 出口から徒歩3分

【お問合せ】 港区立産業振興センター 総合受付 TEL.03-6435-0601 <https://minato-sansin.com/>

【主催】 株式会社キャンパスクリエイト (港区立産業振興センター指定管理者: みなと・キャンパス・リログループ内)



## 日本のスタートアップの国外展開 / 日本企業の国外スタートアップとの連携 ～フランス Vivatechnology やシンガポール Slingshot から最新潮流を考える～

Agorize Japan 株式会社 Japan COO 吉田 錦弘

世界規模の変革が求められる中、オープンイノベーションの取り組みについてもグローバル全体で急激に変化をしております。新規事業中心に捉えられていたオープンイノベーションも様々な形で取り組みが広がっております。フランス発でオープンイノベーション SaaS を提供する Agorize が、どのような形のオープンイノベーション施策が増えてきているのかについて事例を含めて説明を行いながら、日本から世界への挑戦そしてオープンイノベーション的な連携について、世界的なイベントとも関連させながらお伝えしていきます。



## 国内外のスタートアップエコシステムの最新動向

CIC Japan 合同会社 CIC Tokyo ゼネラル・マネージャー 名倉 勝

近年、スタートアップが経済成長の原動力として注目されており、岸田政権も本年をスタートアップ創出元年と掲げている。本講演では、スタートアップの成長やスタートアップとの連携を考える上でも最も重要な概念であるスタートアップエコシステムについて、国内外の最新動向や分析のフレームワークを紹介する。



## コロナ禍で投資を増やし続けるイスラエルスタートアップから 日本企業が学ぶこと

Aniwo Co., Ltd 代表取締役 松山 英嗣

2021年イスラエルスタートアップへの投資は約2兆8,000億円となり、過去最高を更新しました。グローバル企業がイスラエルスタートアップとのオープンイノベーションを急激に増やす中、日本企業が取り組むべき理由、また協業例をお見せしながら解説していく予定です。



## グローバル展開のリアルとサステナビリティファーストな 取り組みから考える事業開発

株式会社ユーグレナ 素材海外事業部 海外営業課 岩崎 秀貴

2005年に世界初となるユーグレナの屋外大量培養に成功し、大学発ベンチャー初の上場を果たしたユーグレナ。コーポレートフィロソフィーとして Sustainability first を掲げ、企業成長と社会課題の縮小の同時実現を標榜し 2021年12月にはジャパン SDGs アワードにて SDGs 推進本部長(内閣総理大臣)賞を受賞。そんなユーグレナのグローバル展開の現状を、具体的な取り組み事例とともに語ります。



## ポストコロナにおける日本のスタートアップのグローバル展開について

フォースタートアップス株式会社 アクセラレーション本部 執行役員 中村 優太

世界のスタートアップエコシステムを評価する「The Global Startup Ecosystem Report 2022」にて、東京は世界12位の評価を受けています。世界からの注目度が上がってきている中で、海外投資家や事業会社から大きな投資を受けるスタートアップも増えてきました。具体的な連携事例などを元に、スタートアップの海外展開の今を探ります。



## 海外展示会の活用と、海外アクセラレーターの活用による グローバル展開の可能性

独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) スタートアップ支援課 課員 亀多 瞭介

海外展示会を活用した日系スタートアップ企業の海外展開事例として、コロナ禍で行われた、スタートアップのテック系展示会の様子と、出展に係るJETROの支援内容をご紹介します。また、個社支援として海外アクセラレーターと連携をして支援を行う、グローバル・アクセラレーション・ハブ事業でのスタートアップの海外展開事例を紹介し、JETRO スタートアップ支援課がどのように支援しているかをご説明いたします。

